

第 51 回日本リハビリテーション医学会学術集会 専門医会企画のご案内

パネルディスカッション 7
小児リハビリテーションの展開

専門医会幹事会

第 51 回日本リハビリテーション医学会学術集会期間中に、上記のテーマで企画を行います。脳性麻痺に対する療育を始祖とした日本の小児リハは、周産期医療の進歩と社会的な要請の変化に伴い、大きな変革期を迎えようとしています。現在の我々の課題は、これまでの脳性麻痺医療に対するアプローチの深化と、発達障害に対する新たなアプローチに集約されると思います。

今回、専門医会企画としては、脳性麻痺医療のエキスパートと、発達障害に対するスタンスを体現されている専門家に現在の知見をお話いただき、未来への展開の起点にしたいと考えています。参加は専門医に限りませんので、皆様奮ってご参加のほどお願い申し上げます。

開催日時：2014 年 6 月 7 日(土) 8:30～10:30

場 所：第 4 会場 (名古屋国際会議場 3 号館 3 階 国際会議場)

- 講演内容：1. オーバービューおよび運動学習の効率化を目指した Functional Therapy
.....国立長寿医療研究センター 近藤 和泉
2. 脳性麻痺リハとニューロリハ治療のハイブリッド化について
.....信濃医療福祉センター 朝貝 芳美
3. 自閉症の医学的リハビリテーション
.....豊田市こども発達センター 高橋 脩
4. 小児専門病院における発達障害児に対する取り組み
.....国立成育医療研究センター 橋本 圭司
5. 質疑応答

司 会：近藤 和泉 国立長寿医療研究センター
朝貝 芳美 信濃医療福祉センター